

徳島大学病院緩和ケアチーム

私たち緩和ケアチームは、治療中の方のサポートチームです!!

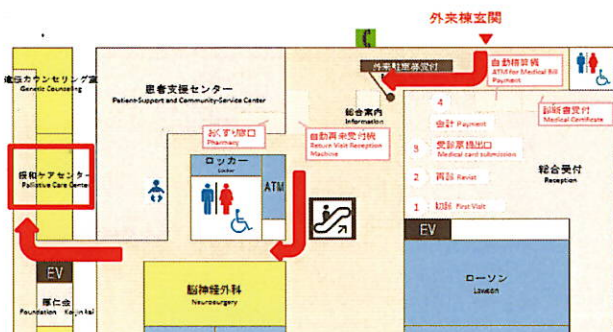


各診療科でがんを治療するために入院されている患者の皆様・ご家族の方に対して、日頃不安に思っていることや・困っていること（痛みや不眠、リンパ浮腫など）、様々な症状を緩和することを目的に、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・理学療法士・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどが連携をはかり、患者さんやご家族のところまで直接伺わせて頂きます。

“緩和ケア”とは、病気と闘っている患者さんと、そのご家族を対象とした積極的なケアです。“緩和ケア”という言葉のひびきは、“終末期の方が受けるケア”と、とらえる方も少なくないかと思えます。しかし、“緩和ケア”とは、病期に関係なく、痛みをはじめとする、病気にとまなうさまざまな症状の緩和をめざすケアのことです。その中には、体の症状だけではなく、心のケアや社会・経済的な問題へのケア、退院後の療養生活に向けた支援、希望を支えるためのケアなどが含まれます。緩和ケアチームの紹介を希望される方は、主治医・看護師にご相談下さい。



緩和ケアセンター専従看護師



緩和ケアセンター連絡先

外線: 088-633-7457

担当: 緩和ケアセンター専従看護師

赤い矢印沿ってお越し下さい。





緩和ケアチーム・ 緩和ケアセンター

緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアです



当チームの特徴

主治医・受け持ち看護師などの依頼を受けて、直接ケアを行います。あわせて病棟スタッフへの助言・支援も行っています。切れ目ない緩和ケア実現のため、地域連携にも力を入れています。緩和医療学会の緩和ケアチームセルフチェックプログラムに参加してチームのバージョンアップを図っています。

COVID-19流行と緩和ケア

面会禁止で荷物の受け渡しは週3回午後（月・水・金）です。リモート面談（1階ロビーと病棟間）が開始されました。コロナ禍で以下の意見が出ています。家族ケアが困難です。（看護師）食事の持ち込みができず、コンビニでの買い物も困難です。（栄養士）家族と会えないのでリハの意欲がわからない様子です。（PT）

チームメンバー

医師2名（身体担当・精神担当）
緩和認定看護師2名
薬剤師3名・管理栄養士2名・
公認心理師1名・理学療法士1名・
MSW1名
緩和ケアセンターGM1名
リンクナース

実績（2020年9月～2021年8月）

介入患者 133名
（がん132名・非がん1名）
実施項目：
疼痛109・その他の身体症状87
転院在宅55・精神症状37
家族ケア22・病状説明22
社会的苦痛7・スピリチュアル3
その他3

徳島赤十字病院

がんサポートチーム のご案内



主治医の先生と共に 多職種チームで 皆様を支援します

医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・公認心理師・社会福祉士・理学療法士・作業療法士

◆つらい症状がある

痛い、せこい、くわる、腹が張る、むかむかする、
息苦しい、だるい、手足がむくむ、眠れない

◆心配なことがある

気になる、やる気にならない…

◆お金が心配

治療費はどのくらいかかるかな？ お金いけるかな？

◆これからが心配

いつ退院できるかな？ 家で居たいけど…

◆食事が心配

何を食べたらいいかな？ 少しでも食べたいな…

◆動くのが心配

動いてもいいかな？ 最近、体力が落ちてきたな…

ご相談は、入院病棟 あるいは 外来Aブロック受付へ

徳島赤十字病院

医療・がん相談支援センター

医療・がん相談支援センターでは次のようなご相談をお受けしています

治療に伴う副作用等に関する相談

効果・副作用についてもっと詳しく聞きたい
治療に伴う脱毛や爪の変色、下着などで悩んでいる



症状緩和に関する相談

痛み、倦怠感、吐き気、息苦しさ、手足の腫れ、口が渇くなど、ゆっくり相談できないことについて知りたい



治療・処置に関する相談

人工肛門ケア、マッサージなどの理学療法、代替療法などについて知りたい

精神的不安に関する相談

生活や家族のこと、仕事の悩みなどゆっくり話を聞いてほしい

医療機関・介護老人福祉施設等の紹介

診断や治療について他の医師の意見を聞きたい
転医先の病院・施設について知りたい



訪問診療や訪問看護・介護サービスの紹介

在宅で療養・介護をするにはどうしたらよいか聞きたい

医療費の相談

医療保険制度・高額療養費制度について知りたい

仕事に関する相談

治療しながら仕事を続けたい 短時間なら働けるようになったので相談したい

がんに関する図書・インターネットでの情報

がんに関する本や、治療に関する情報・いろいろな病院、患者会など知りたい



※注 個人情報に該当する内容は、患者様の同意がない場合にはお答えできませんのでご了承ください。

生活応援グッズのご紹介

① 抗がん剤の副作用による脱毛で悩んでいるあなたへ

“こんなものがあつたらいいな・・・”

治療中でも安心して、快適に過ごすために”

・医療用かつら・帽子の見本とパンフレットを準備しておりますので、お気軽にお立ち寄りください

② 乳房手術をした方の下着

乳房手術をした方の下着のカatalogと製品見本を準備しております

③ ストーマ(人工肛門)を造られたオストメイトやご家族へ

ストーマケアや装具、皮膚トラブルなどのご相談に皮膚・排泄ケア認定看護師がお答えします

また、失禁や褥瘡などのケアについてもご相談ください



新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み
当面の間、休止中

ほっとハートサロン

徳島赤十字病院では、がんとうまく付き合い、自分らしい生活を送るために患者さま同士で情報交換できる会を開催しています

日頃の思いを話すだけでも、聴くだけでも気持ちが軽くなる場合があります

・開催日時: 毎月の第4金曜日

・参加できる方: 当院で治療、療養を受けている患者様と
そのご家族

・参加申し込み: 医療・がん相談支援センターにお申込み
ください

・参加費: 無料

・場所: 病院棟4階



- 相談日 : 月曜日～金曜日(祝祭日、創立記念日(5/1)、年末年始は除く)
- 受付時間 : 9:00～16:00
- 相談場所 : 病院棟1階 医療・がん相談支援センター
- 相談時間 : 直接面談 60分、電話相談 20分
- 相談料 : 無料
- 電話番号 : 0885-32-2555 (内線:3167)
- FAX : 0885-33-2204
- 相談方法 : 電話予約をお願いします



直接ご来院される場合は医療・がん相談支援センター
(病院棟1階・医療社会事業部内)へお越し下さい



お気軽にご相談下さい



徳島市民病院 緩和ケア部門

緩和ケアチーム

治療病棟では私たち緩和ケアチームが
あなたのがん治療や療養生活を支えます

★緩和ケアチームの役割

- ◇ つらさを和らげるための方法を多職種で検討し、担当医に提案します
- ◇ がん相談員・緩和ケア認定看護師・臨床心理士・社会福祉士が、病院の相談部門におり、在宅療養中のいろいろな相談にも対応します
- ◇ がん治療や療養場所を決める際、患者さんとご家族の気持ちに寄り添いながら、一緒によい方法を考えます
- ◇ ご希望に応じて、主担当医からの病状説明に同席したり、意思決定に必要な情報をお調べしたりします
- ◇ 家族の方のご相談にも対応します

緩和ケア外来



緩和ケア相談外来

患者さんとご家族に大切な時間を
過ごしていただけるように！
多職種チームで協働し
その人らしく生きることを支えます

★在宅療養中の方への活動と在宅医との連携



★在宅医とのカンファレンス



★相談部門スタッフ

支持療法外来



がん治療中のあなたの
つらい症状や気持ちを支えます



今おこなっているがんの治療を
継続しながら並行して
受けることができる治療です

希望される方は主治医・看護師にお伝えください

★入院中の方への活動



★訪問前の情報共有



★病室訪問

がん相談支援センター

ご本人やご家族の不安を少しでも
和らげるために、医療や福祉など
に関わる総合的な相談を専門員
がお受けしています

がん相談支援センターのご案内



患者支援センター
の中におります！
お気軽にお声かけ
ください！

不安や心配事を一
人で抱えず、これら
のがん治療のことを一
緒に考えていきましょ
う！



専門の研修を受けた看護師・医療ソーシャルワーカー・公認
心理師等がいます。

TEL 088-622-5121 (平日：8:30-17:00)



★多職種チームで検討会

医療法人 若葉会 近藤内科病院 緩和ケア病棟【ホスピス徳島】

私たち近藤内科病院の看護師は、患者様やご家族との関わりの中で、その方の人生感や生き方を知り、看護師自身の人生観などを形成するきっかけとなっていると考えます。私たち看護師が行っているケアは患者・家族の皆様のメンタルケアになっているだけではなく、看護師のメンタルケアにもなっています。様々な場面で**患者様やご家族とはお互いに、人として癒し癒される関係**にあります。ご家族の笑顔が見られること、お茶会などでは病室では見られない表情や会話ができること、感謝の言葉をいただくこと、実施したケアにより患者様が安楽になるのを見たときに、私たちスタッフは癒されています。

緩和ケア病棟が大切にしている4つの命題

- ・ 症状コントロール
- ・ 日常性の維持
- ・ 人として尊敬されること
- ・ 家族ケア

日常性を維持するとは・・・

☆基本的な欲求が満たされる

基本的な欲求が満たされるとは、食事が食べられる、睡眠が確保される、清潔が保持される、排泄がトイレでできる、ということです。この基本的な欲求を自立して行えるように援助しています。

【食事】

提供する食事を彩り食と名づけ、色々な料理を一品一品、少しずつ盛り付け、食事に彩を与えています。

【清潔】

希望があればできる限り入浴介助を実施します。
(チューブの挿入・酸素吸入・意識がなくてもご家族の希望など)

【排泄】

できる限りトイレに行きたいという患者さんの気持ちをかなえることができる室内ウォシュレットトイレ

☆社会とのつながりを持てるようにする

- ・ 季節の行事、浄瑠璃、フルーツ演奏会などのミニコンサート
- ・ ボランティアによるティーサービス
- ・ 趣味の継続
- ・ 外出・外泊の援助
- ・ お誕生日会

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、面会や演奏会、ティーサービスの提供、外出外泊などが制限されています。このような状況の中、少しでも患者様とご家族とのつながりを持てるように、当院ではテレビ電話の導入や窓越し面会などを行っています。また、患者様に少しでも季節を感じてもらうように季節のお菓子などを用意したり、スタッフと記念撮影をしたりしています。



季節に合わせたお茶菓子



スタッフと一緒にテイルームでティータイム♪



テレビ面会でお誕生会



ガラス越し面会

コロナ禍での入退院の動向

- ・ 県内緩和ケア病棟のコロナ対応病棟への変換もあり紹介件数が増加。
R1年度(157件)→R2年度(190件)
- ・ 面会制限等の影響で在宅への退院割合が増加。
R1年度(31.8%)→R2年度(42.8%)
※全退院数の内、在宅退院数の割合